

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

## 2 調査の周期・期日

周期 昭和23年度から毎年実施（昭和23年度から昭和34年度までは、統計の名称を「学校衛生統計」として実施）。

期日 平成20年4月1日から6月30日までの間に実施された学校保健法による健康診断の結果に基づき調査。

## 3 調査の対象

満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という）の一部（抽出調査）。なお、調査実施学校数、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

調 査 対 象 者 数				
区 分	調 査 実 施 学 校（園）数	調 査 対 象 者 数（人）		
		発育状態調査	健康状態調査	
幼 稚 園	32	1,113	1,462	
小 学 校	59	5,329	23,225	
中 学 校	39	4,397	15,803	
高 等 学 校	28	2,469	17,513	
計	158	13,308	58,003	
抽 出 率		全児童・生徒及び 幼児の7.6%を抽出	全児童・生徒及び 幼児の33.2%を抽出	

（注） 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

## 4 調査事項

- （1）児童等の発育状態（身長、体重及び座高）
- （2）児童等の健康状態（栄養状態、せき柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果）

## 5 利用上の注意

- （1） この速報は、文部科学省がまとめた「平成20年度学校保健統計調査速報」の一部（青森県分）を要約したものであり、後日、「平成20年度学校保健統計調査報告書」として文部科学省が公表する数値が確定値となる。
- （2） 年齢は、平成20年4月1日現在の満年齢である。
- （3） 統計表の中の記号
  - ・「－」 該当者がいない場合
  - ・「…」 調査対象とならなかった場合
  - ・「0.00」 計数が単位未満の場合
- （4） 合計の数値は、四捨五入を行っているため各項目の合計と一致しない場合がある。

## Ⅱ 調査結果の概要

### A 発育状態

#### 1 身長

男女とも全年齢で全国平均以上の数値となっており、その差が最も大きいのは、男子では11歳の1.8cm、女子では8歳の2.1cmとなっている。

- ① 男子の7歳及び8歳、女子の8歳の数値は、これまでの青森県の平均値の中で最も高い。
- ② 男子は6歳及び16歳、女子は8歳、10歳及び11歳で全国第1位となっている。
- ③ 最大の年間発育量は、男子は11歳から12歳時及び12歳から13歳時の7.1cmとなっている。  
女子は、7歳から8歳時の7.1cmとなっている。

表1 身長の平均値

区 分		年齢	身 長 (cm)							本県 順位
			青森県 での調 査人数	平成20年度 (青森県) A	平成19年度 (青森県) B	差 A－B	年間発育量	平成20年度 (全 国) C	差 A－C	
男	幼稚園	5歳	566	111.7	111.0	0.7	－	110.8	0.9	2
	小学校	6歳	441	117.9	117.4	0.5	6.9	116.7	1.2	1
		7歳	441	<u>123.8</u>	123.5	0.3	6.4	122.5	1.3	2
		8歳	450	<u>129.6</u>	129.3	0.3	6.1	128.2	1.4	2
		9歳	447	134.4	134.9	-0.5	5.1	133.7	0.7	5
		10歳	450	139.9	140.7	-0.8	5.0	138.9	1.0	4
		11歳	448	147.1	146.5	0.6	6.4	145.3	1.8	2
	中学校	12歳	734	153.6	154.4	-0.8	7.1	152.6	1.0	4
		13歳	734	161.5	161.1	0.4	7.1	159.8	1.7	2
		14歳	732	166.4	166.2	0.2	5.3	165.4	1.0	5
	高等学校	15歳	398	169.1	168.9	0.2	2.9	168.3	0.8	4
		16歳	415	171.2	170.9	0.3	2.3	170.0	1.2	1
		17歳	411	171.3	171.8	-0.5	0.4	170.7	0.6	6
女	幼稚園	5歳	547	110.2	110.7	-0.5	－	109.8	0.4	8
	小学校	6歳	444	116.5	116.6	-0.1	5.8	115.8	0.7	3
		7歳	440	122.5	122.5	0.0	5.9	121.7	0.8	2
		8歳	442	<u>129.6</u>	128.5	1.1	7.1	127.5	2.1	1
		9歳	441	135.1	135.6	-0.5	6.6	133.6	1.5	2
		10歳	442	142.0	142.0	0.0	6.4	140.3	1.7	1
		11歳	443	148.4	148.1	0.3	6.4	146.8	1.6	1
	中学校	12歳	723	152.9	152.8	0.1	4.8	152.1	0.8	2
		13歳	731	155.5	156.2	-0.7	2.7	155.1	0.4	10
		14歳	743	157.1	157.5	-0.4	0.9	156.6	0.5	7
	高等学校	15歳	405	157.6	157.0	0.6	0.1	157.3	0.3	9
		16歳	420	158.3	158.7	-0.4	1.3	157.7	0.6	6
		17歳	420	158.0	158.1	-0.1	-0.7	158.0	0.0	18

(注)：1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。

2. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の6.4cmは、147.1cm(20年度の11歳の数値)－140.7cm(19年度の10歳の数値)で求められる。

## 2 体 重

男女とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では16歳の3.6kg、女子では11歳の2.7kgとなっている。

- ① 女子の8歳の数値は、これまでの青森県の平均値の中で最も高い。
- ② 男子は6歳、8歳、11歳、13歳、15歳及び16歳、女子は6歳、8歳から12歳及び14歳から16歳で全国第1位となっている。
- ③ 最大の年間発育量は、男子は11歳から12歳時の5.8kgとなっている。  
女子は、11歳から12歳時の6.1kgとなっている。

表2 体重の平均値

区 分		年齢	体 重 (kg)							本県 順位
			青森県 での調 査人数	平成20年度 (青森県) A	平成19年度 (青森県) B	差 A－B	年間発育量	平成20年度 (全 国) C	差 A－C	
男	幼稚園	5歳	566	19.7	19.5	0.2	－	19.1	0.6	2
	小学校	6歳	441	22.9	22.4	0.5	3.4	21.5	1.4	1
		7歳	441	25.6	25.9	-0.3	3.2	24.2	1.4	2
		8歳	450	29.6	29.0	0.6	3.7	27.3	2.3	1
		9歳	447	32.2	33.1	-0.9	3.2	30.8	1.4	6
		10歳	450	35.5	37.2	-1.7	2.4	34.3	1.2	6
		11歳	448	41.6	40.8	0.8	4.4	38.8	2.8	1
	中学校	12歳	734	46.6	48.2	-1.6	5.8	44.5	2.1	4
		13歳	734	51.7	52.2	-0.5	3.5	49.5	2.2	1
		14歳	732	57.4	57.6	-0.2	5.2	54.9	2.5	2
	高等学校	15歳	398	62.6	61.8	0.8	5.0	59.8	2.8	1
		16歳	415	65.2	64.1	1.1	3.4	61.6	3.6	1
		17歳	411	65.4	67.4	-2.0	1.3	63.4	2.0	4
女	幼稚園	5歳	547	19.1	19.5	-0.4	－	18.6	0.5	4
	小学校	6歳	444	22.1	22.0	0.1	2.6	21.0	1.1	1
		7歳	440	24.6	24.5	0.1	2.6	23.6	1.0	3
		8歳	442	<u>29.1</u>	27.9	1.2	4.6	26.6	2.5	1
		9歳	441	31.8	32.5	-0.7	3.9	30.1	1.7	1
		10歳	442	36.6	36.7	-0.1	4.1	34.4	2.2	1
		11歳	443	42.0	40.4	1.6	5.3	39.3	2.7	1
	中学校	12歳	723	46.5	46.0	0.5	6.1	44.2	2.3	1
		13歳	731	48.9	50.3	-1.4	2.9	47.7	1.2	2
		14歳	743	52.4	52.5	-0.1	2.1	50.4	2.0	1
	高等学校	15歳	405	54.5	52.9	1.6	2.0	52.0	2.5	1
		16歳	420	55.3	55.7	-0.4	2.4	53.0	2.3	1
		17歳	420	53.8	54.9	-1.1	-1.9	53.2	0.6	13

(注) : 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。

2. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の4.4kgは、41.6kg  
(20年度の11歳の数値)－37.2kg(19年度の10歳の数値)で求められる。

### 3 座 高

男女とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では11歳の1.0cmで、女子では8歳及び11歳の1.1cmとなっている。

- ① 男子の6歳から8歳、14歳、16歳及び17歳、女子の8歳、11歳、16歳及び17歳の数値は、これまでの青森県の平均値の中で最も高い。(男子の6歳は平成6年度、7歳は平成13年度及び14年度、8歳は平成12年度、14歳と17歳は平成17年度と、女子の8歳は平成13年度と同数値)
- ② 男子は5歳から7歳及び11歳、女子は8歳、10歳及び11歳で全国第1位となっている。
- ③ 年間発育量が最大なのは、男子は11歳から12歳時の3.6cmとなっている。  
女子は、10歳から11歳時の3.5cmとなっている。

表3 座高の平均値

区 分		年 齢	座 高 (cm)							
			青森県 での調 査人数	平成20年度 (青森県) A	平成19年度 (青森県) B	差 A－B	年間発育量	平成20年度 (全 国) C	差 A－C	本県 順位
男	幼稚園	5歳	397	62.7	62.4	0.3	－	62.1	0.6	1
	小学校	6歳	441	65.7	65.3	0.4	3.3	65.0	0.7	1
		7歳	441	68.5	68.2	0.3	3.2	67.7	0.8	1
		8歳	450	71.1	70.8	0.3	2.9	70.3	0.8	2
		9歳	447	73.2	73.4	－0.2	2.4	72.8	0.4	5
		10歳	450	75.3	75.8	－0.5	1.9	75.0	0.3	11
		11歳	448	78.8	78.4	0.4	3.0	77.8	1.0	1
	中学校	12歳	734	82.0	82.6	－0.6	3.6	81.4	0.6	5
		13歳	734	85.9	85.6	0.3	3.3	85.0	0.9	2
		14歳	732	88.9	88.7	0.2	3.3	88.2	0.7	3
	高等学校	15歳	398	90.8	90.8	0.0	2.1	90.2	0.6	2
		16歳	415	91.9	91.8	0.1	1.1	91.2	0.7	3
		17歳	411	92.2	92.1	0.1	0.4	91.7	0.5	9
女	幼稚園	5歳	388	61.9	62.0	－0.1	－	61.6	0.3	10
	小学校	6歳	444	65.0	64.8	0.2	3.0	64.6	0.4	2
		7歳	440	67.8	67.7	0.1	3.0	67.3	0.5	2
		8歳	442	71.1	70.5	0.6	3.4	70.0	1.1	1
		9歳	441	73.5	73.8	－0.3	3.0	72.8	0.7	2
		10歳	442	76.8	76.9	－0.1	3.0	76.0	0.8	1
		11歳	443	80.4	79.7	0.7	3.5	79.3	1.1	1
	中学校	12歳	723	82.9	82.7	0.2	3.2	82.2	0.7	2
		13歳	731	84.0	84.6	－0.6	1.3	83.8	0.2	11
		14歳	743	85.2	85.3	－0.1	0.6	84.9	0.3	8
	高等学校	15歳	405	85.9	85.2	0.7	0.6	85.4	0.5	6
		16歳	420	86.2	85.9	0.3	1.0	85.6	0.6	3
		17歳	420	86.0	85.9	0.1	0.1	85.8	0.2	14

(注) : 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。

2. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の3.0cmは、78.8cm(20年度の11歳の数値)－75.8cm(19年度の10歳の数値)で求められる。

#### 4 30年前（親の世代）との比較

本県の身長・体重・座高の平均値は、親の世代である30年前の昭和53年度と比較すると、各項目において男女とも全ての年齢で向上している。

##### ① 身長

男子の身長を比較すると、最も差のある年齢は13歳で4.5cm親の世代より高い。  
また、女子では10歳で3.1cm親の世代より高い。

##### ② 体重

男子の体重を比較すると、最も差のある年齢は15歳で5.1kg親の世代より重い。  
また、女子では11歳で3.9kg親の世代より重い。

##### ③ 座高

男子の座高を比較すると、最も差のある年齢は13歳で2.7cm親の世代より高い。  
また、女子では11歳で2.2cm親の世代より高い。

**表4 30年前の身長・体重・座高の平均値との比較**

区 分		年 齢	身 長 ( c m )			体 重 ( k g )			座 高 ( c m )		
			平成 2 0 年度 A	昭和 5 3 年度 B	差 A－B	平成 2 0 年度 C	昭和 5 3 年度 D	差 C－D	平成 2 0 年度 E	昭和 5 3 年度 F	差 E－F
男	幼稚園	5歳	111.7	111.5	0.2	19.7	19.3	0.4	62.7	62.5	0.2
	小学校	6歳	117.9	116.3	1.6	22.9	20.9	2.0	65.7	64.9	0.8
		7歳	123.8	121.8	2.0	25.6	23.2	2.4	68.5	67.5	1.0
		8歳	129.6	127.3	2.3	29.6	26.5	3.1	71.1	70.0	1.1
		9歳	134.4	132.3	2.1	32.2	29.4	2.8	73.2	72.1	1.1
		10歳	139.9	137.6	2.3	35.5	32.8	2.7	75.3	74.4	0.9
		11歳	147.1	143.1	4.0	41.6	36.7	4.9	78.8	76.7	2.1
	中学校	12歳	153.6	150.3	3.3	46.6	41.6	5.0	82.0	79.9	2.1
		13歳	161.5	157.0	4.5	51.7	46.9	4.8	85.9	83.2	2.7
		14歳	166.4	163.5	2.9	57.4	52.7	4.7	88.9	86.7	2.2
	高等学校	15歳	169.1	167.0	2.1	62.6	57.5	5.1	90.8	89.5	1.3
		16歳	171.2	169.4	1.8	65.2	60.3	4.9	91.9	90.7	1.2
		17歳	171.3	169.8	1.5	65.4	61.8	3.6	92.2	90.6	1.6
女	幼稚園	5歳	110.2	110.1	0.1	19.1	18.8	0.3	61.9	61.8	0.1
	小学校	6歳	116.5	115.1	1.4	22.1	20.3	1.8	65.0	64.3	0.7
		7歳	122.5	120.9	1.6	24.6	22.6	2.0	67.8	67.1	0.7
		8歳	129.6	126.8	2.8	29.1	25.8	3.3	71.1	69.4	1.7
		9歳	135.1	133.0	2.1	31.8	29.3	2.5	73.5	72.0	1.5
		10歳	142.0	138.9	3.1	36.6	32.8	3.8	76.8	74.9	1.9
		11歳	148.4	145.6	2.8	42.0	38.1	3.9	80.4	78.2	2.2
	中学校	12歳	152.9	150.6	2.3	46.5	42.8	3.7	82.9	81.5	1.4
		13歳	155.5	153.8	1.7	48.9	46.9	2.0	84.0	83.2	0.8
		14歳	157.1	155.4	1.7	52.4	49.8	2.6	85.2	84.0	1.2
	高等学校	15歳	157.6	156.6	1.0	54.5	51.6	2.9	85.9	85.2	0.7
		16歳	158.3	156.9	1.4	55.3	53.1	2.2	86.2	85.1	1.1
		17歳	158.0	156.4	1.6	53.8	52.9	0.9	86.0	84.7	1.3

図1 30年前（親の世代）の身長・体重の平均値との比較

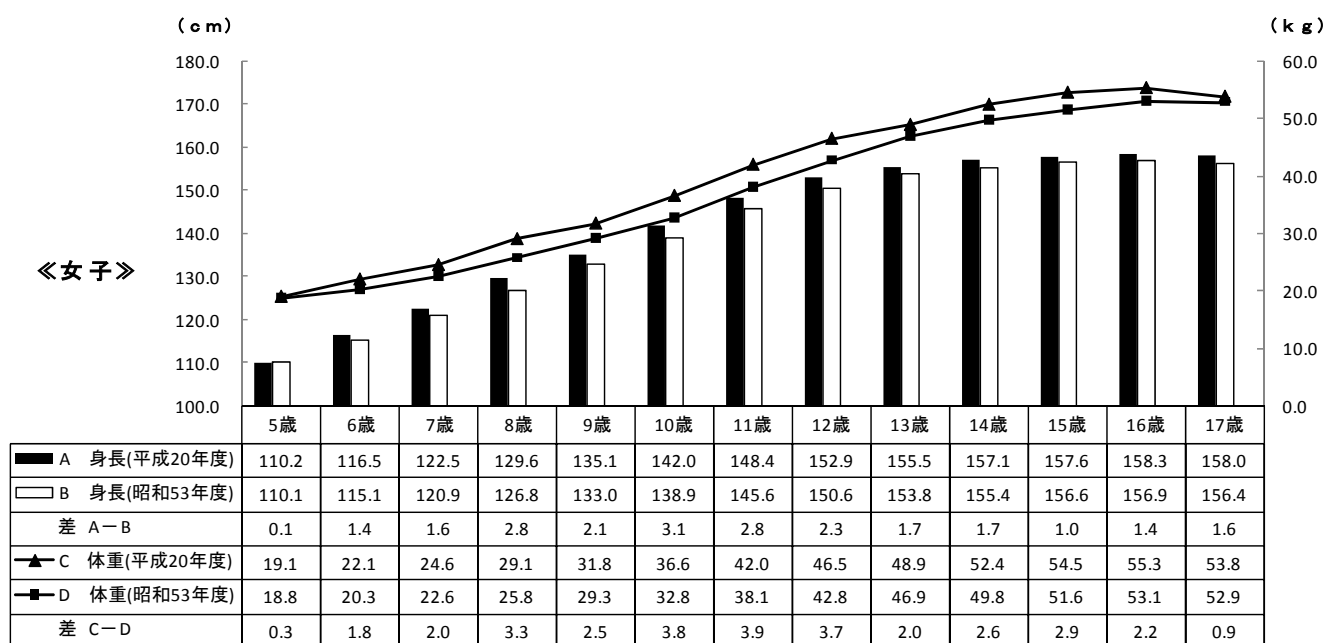
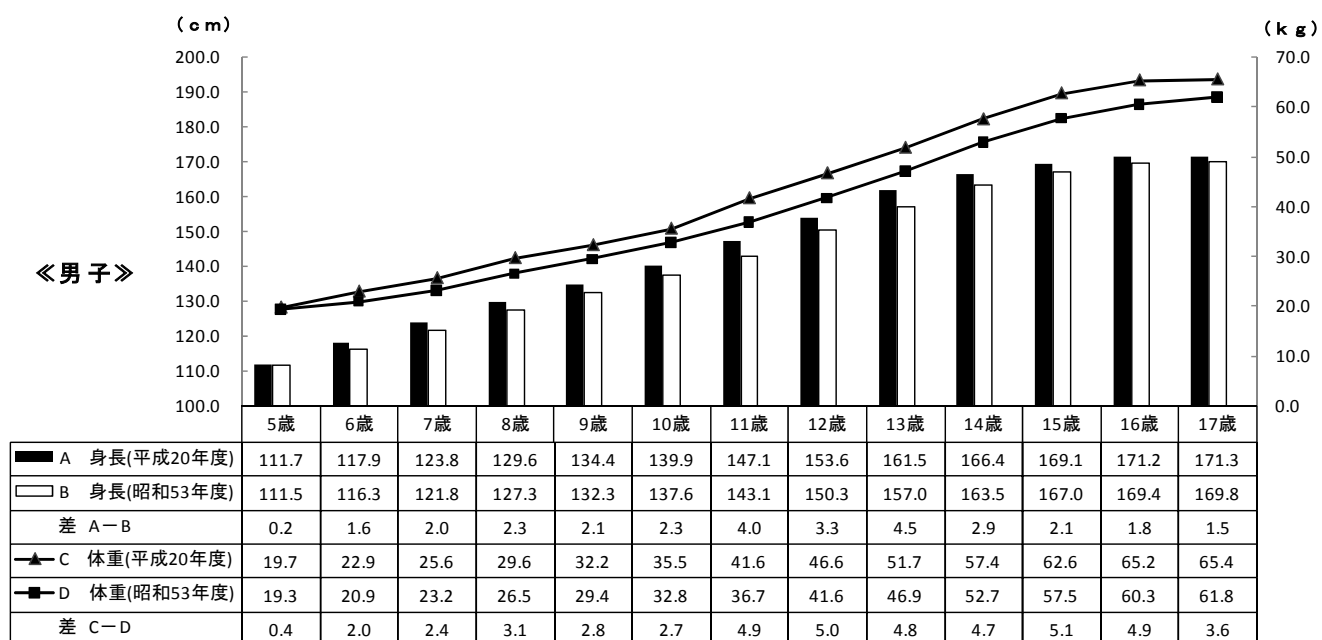


表5 身長に占める足の長さの割合

(単位：%)

区 分		幼稚園	小 学 校						中 学 校			高 等 学 校		
		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男	平成20年度 A	43.9	44.3	44.7	45.1	45.5	46.2	46.4	46.6	46.8	46.6	46.3	46.3	46.2
	昭和53年度 B	43.9	44.2	44.6	45.0	45.5	45.9	46.4	46.8	47.0	47.0	46.4	46.5	46.6
	差(A-B)	-0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	-0.2	-0.2	-0.4	-0.1	-0.1	-0.5
女	平成20年度 C	43.8	44.2	44.7	45.1	45.6	45.9	45.8	45.8	46.0	45.8	45.5	45.5	45.6
	昭和53年度 D	43.9	44.1	44.5	45.3	45.9	46.1	46.3	45.9	45.9	45.9	45.6	45.8	45.8
	差(C-D)	0.0	0.1	0.2	-0.1	-0.3	-0.2	-0.5	-0.1	0.1	-0.2	-0.1	-0.2	-0.3

注：割合(A, B)の数値は四捨五入を行っているため、差(A-B)とは一致しない場合がある。

## 5 高等学校3年生の12年間の発育量

高等学校3年生（17歳）の幼稚園入園時（平成8年度に5歳）から12年間の発育量は、男子の身長が59.4cm、体重が45.1kg、女子の身長が47.3cm、体重が34.3kgとなっている。

- ① 年間発育量の大きい時期を見ると、男子は身長で小学校6年生から中学校1年生の間（7.4cm）、体重で小学校6年生から中学校1年生の間（6.6kg）となっており、女子は身長で小学校4年生から5年生の間（7.7cm）、体重で小学校4年生から5年生の間（4.9kg）となっている。
- ② 年間発育量が最も大きい時期を親の世代と比較すると、男子の体重では2歳早く、男子の身長、女子の身長及び体重では1歳早く、ピークを迎えている。

**表6 高等学校3年生の12年間の発育量（親の世代との比較）**

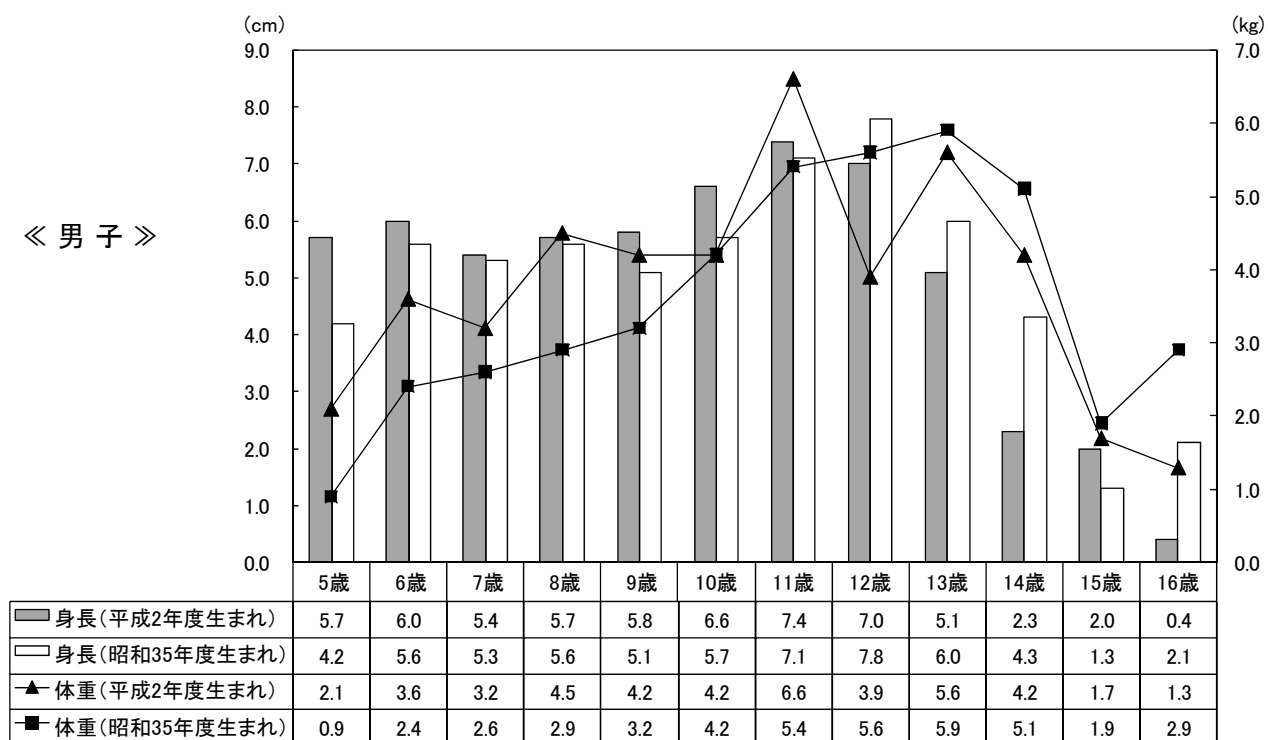
－ 平成2年度生まれ(平成20年度17歳)と昭和35年度生まれ(昭和53年度17歳)の比較 －

区 分		当時	身 長 (c m)				体 重 (k g)			
			平成2年度 生まれ	年 間 発育量	昭和35年度 生まれ	年 間 発育量	平成2年度 生まれ	年 間 発育量	昭和35年度 生まれ	年 間 発育量
男	幼稚園	5歳	111.9	5.7	109.7	4.2	20.3	2.1	18.8	0.9
	小学校	6歳	117.6	6.0	113.9	5.6	22.4	3.6	19.7	2.4
		7歳	123.6	5.4	119.5	5.3	26.0	3.2	22.1	2.6
		8歳	129.0	5.7	124.8	5.6	29.2	4.5	24.7	2.9
		9歳	134.7	5.8	130.4	5.1	33.7	4.2	27.6	3.2
		10歳	140.5	6.6	135.5	5.7	37.9	4.2	30.8	4.2
		11歳	147.1	7.4	141.2	7.1	42.1	6.6	35.0	5.4
	中学校	12歳	154.5	7.0	148.3	7.8	48.7	3.9	40.4	5.6
		13歳	161.5	5.1	156.1	6.0	52.6	5.6	46.0	5.9
		14歳	166.6	2.3	162.1	4.3	58.2	4.2	51.9	5.1
高等学校	15歳	168.9	2.0	166.4	1.3	62.4	1.7	57.0	1.9	
	16歳	170.9	0.4	167.7	2.1	64.1	1.3	58.9	2.9	
	17歳	171.3		169.8		65.4		61.8		
1 2年間の発育量			59.4		60.1		45.1		43.0	
女	幼稚園	5歳	110.7	6.1	108.8	4.1	19.5	2.9	18.2	1.1
	小学校	6歳	116.8	6.1	112.9	5.6	22.4	2.8	19.3	2.2
		7歳	122.9	5.5	118.5	5.6	25.2	3.1	21.5	2.7
		8歳	128.4	6.3	124.1	6.0	28.3	4.1	24.2	3.0
		9歳	134.7	7.7	130.1	6.3	32.4	4.9	27.2	3.9
		10歳	142.4	6.1	136.4	7.4	37.3	4.7	31.1	5.8
		11歳	148.5	4.1	143.8	5.6	42.0	4.6	36.9	5.4
	中学校	12歳	152.6	3.4	149.4	3.7	46.6	3.1	42.3	4.0
		13歳	156.0	1.0	153.1	2.2	49.7	2.6	46.3	3.3
		14歳	157.0	0.5	155.3	0.3	52.3	1.5	49.6	1.9
	高等学校	15歳	157.5	1.2	155.6	0.7	53.8	1.9	51.5	0.6
		16歳	158.7	-0.7	156.3	0.1	55.7	-1.9	52.1	0.8
		17歳	158.0		156.4		53.8		52.9	
1 2年間の発育量			47.3		47.6		34.3		34.7	

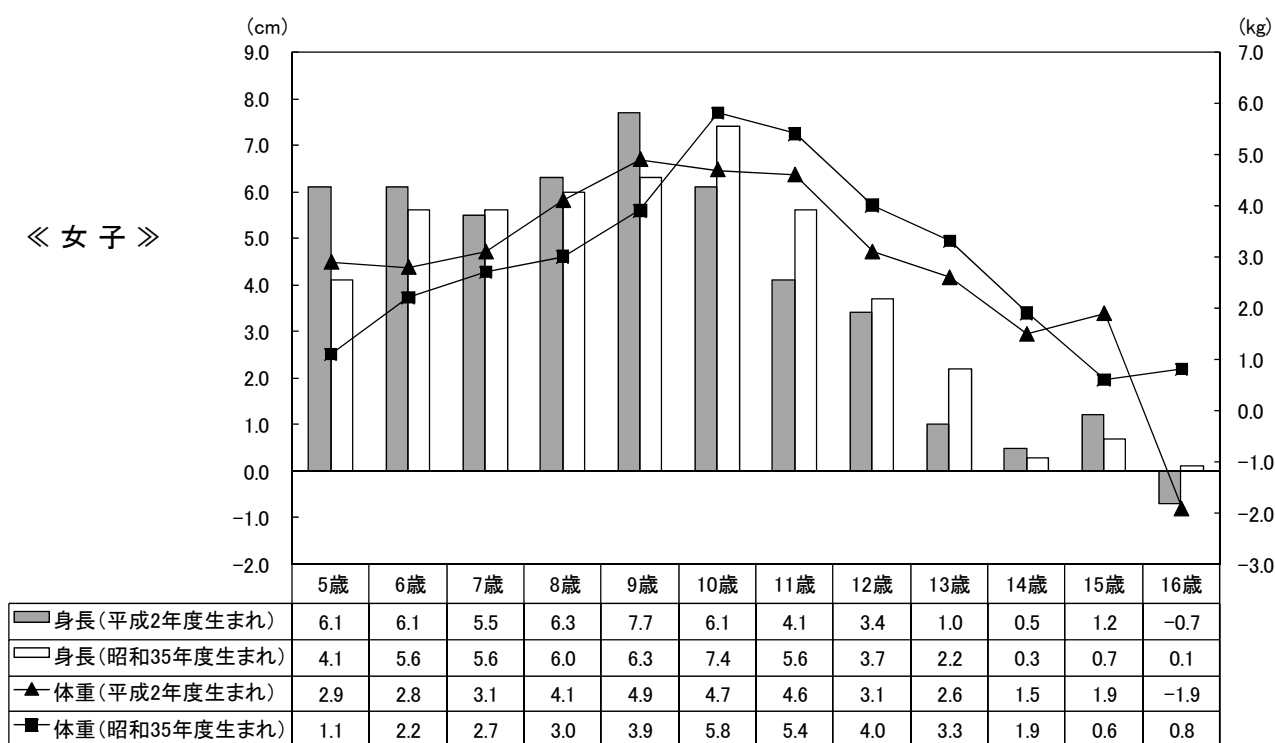
- 注：1. 年間発育量とは、例えば、平成2年度生まれの「5歳時」の年間発育量は、平成9年度調査6歳の者の体位から平成8年度調査5歳の者の体位を引いたものである。
2. 昭和35年度生まれの9歳と10歳の数値は、都道府県集計が行われていないため、全国値によった。

図2 高等学校3年生の12年間の発育量（親の世代との比較）

《 男子 》



《 女子 》





## 6 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児及び痩身傾向児の本県と全国における出現率は次のとおりで、肥満傾向児の出現率が、男女とも全年齢で全国値を上回っている。

### ① 肥満傾向児

男子では、15歳の出現率が20.35%で最も高率となっており、全国値との差では8歳が最も大きく、7.54ポイント上回っている。

女子では、15歳の出現率が17.06%で最も高率となっており、全国値との差では8歳が最も大きく、7.91ポイント上回っている。

### ② 痩身傾向児

男子では、15歳の出現率が3.16%で最も高率となっており、全国値との差では9歳及び15歳が最も大きく、0.92ポイント上回っている。

女子では、10歳の出現率が3.29%で最も高率となっており、全国値との差では17歳が最も大きく、0.97ポイント上回っている。

表7 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

区 分		年齢	肥満傾向児						痩身傾向児					
			平成20年度 (青森県)	平成19年度 (青森県)	差	全 国	差	本県	平成20年度 (青森県)	平成19年度 (青森県)	差	全 国	差	本県
			A	B	A-B	C	A-C	順位	D	E	D-E	F	D-F	順位
男	幼稚園	5歳	4.40	4.38	0.02	2.87	1.53	7	0.00	0.37	-0.37	0.35	-0.35	40
		6歳	10.48	9.07	1.41	4.52	5.96	1	0.19	0.67	-0.48	0.46	-0.27	32
	小学校	7歳	11.12	14.64	-3.52	6.19	4.93	2	0.22	0.59	-0.37	0.43	-0.21	34
		8歳	15.57	15.06	0.51	8.03	7.54	1	0.76	1.88	-1.12	0.80	-0.04	27
		9歳	15.30	17.22	-1.92	10.36	4.94	6	2.17	0.40	1.77	1.25	0.92	6
		10歳	13.58	20.01	-6.43	11.32	2.26	11	2.93	3.40	-0.47	2.39	0.54	11
		11歳	17.65	14.53	3.12	11.18	6.47	1	2.91	1.86	1.05	2.75	0.16	15
	中学校	12歳	16.66	20.18	-3.52	11.97	4.69	5	1.97	1.66	0.31	2.25	-0.28	23
		13歳	12.41	15.90	-3.49	10.28	2.13	10	2.14	1.84	0.30	1.68	0.46	7
		14歳	16.27	14.67	1.60	9.99	6.28	1	1.11	1.44	-0.33	1.75	-0.64	39
	高等学校	15歳	20.35	13.71	6.64	13.45	6.90	1	3.16	0.88	2.28	2.24	0.92	4
		16歳	17.52	18.15	-0.63	11.85	5.67	1	1.26	0.00	1.26	1.75	-0.49	32
		17歳	16.51	20.99	-4.48	12.33	4.18	7	1.30	0.68	0.62	1.96	-0.66	34
女	幼稚園	5歳	4.53	7.48	-2.95	2.78	1.75	6	0.70	0.17	0.53	0.50	0.20	12
		6歳	9.24	9.34	-0.10	4.57	4.67	2	0.48	0.48	0.00	0.54	-0.06	26
	小学校	7歳	8.50	10.80	-2.30	5.88	2.62	3	0.34	2.12	-1.78	0.57	-0.23	37
		8歳	15.09	11.52	3.57	7.18	7.91	1	0.18	0.64	-0.46	1.01	-0.83	47
		9歳	12.29	13.65	-1.36	7.91	4.38	4	0.96	1.52	-0.56	1.51	-0.55	36
		10歳	14.21	13.41	0.80	9.42	4.79	2	3.29	2.16	1.13	2.42	0.87	6
		11歳	13.54	10.51	3.03	9.68	3.86	7	1.32	3.77	-2.45	2.69	-1.37	43
	中学校	12歳	15.87	15.22	0.65	9.84	6.03	1	2.47	3.50	-1.03	3.91	-1.44	40
		13歳	10.95	14.12	-3.17	9.05	1.90	8	3.21	2.14	1.07	3.39	-0.18	24
		14歳	13.57	13.46	0.11	8.54	5.03	1	2.04	2.16	-0.12	2.69	-0.65	32
	高等学校	15歳	17.06	15.72	1.34	9.56	7.50	1	2.66	2.15	0.51	2.51	0.15	18
		16歳	12.98	15.50	-2.52	8.40	4.58	3	2.21	1.98	0.23	2.07	0.14	21
		17歳	9.36	13.98	-4.62	8.64	0.72	22	2.71	1.36	1.35	1.74	0.97	5

注： 1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

2. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

※ 肥満度＝(実測体重－身長別標準体重)／身長別標準体重×100%

## B 健康状態

### 1 疾病・異常の被患率等別の状況

疾病・異常を被患率等別にみると、いずれの学校区分においても「むし歯（う歯）」が最も高い。

表 8 疾病・異常の被患率等

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高等学校
90%以上					
80%以上～90%未満					
70 ～ 80			むし歯（う歯）		むし歯（う歯）
60 ～ 70		むし歯（う歯）		むし歯（う歯） 裸眼視力1.0未満の者	裸眼視力1.0未満の者
50 ～ 60					
40 ～ 50			裸眼視力1.0未満の者		
30 ～ 40					
20 ～ 30					
10 ～ 20			鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	
1～10	8～10	鼻・副鼻腔疾患			
	6～8				
	4～6		歯・口腔のその他の疾病・異常 耳疾患 眼の疾病・異常		歯肉の状態 歯垢の状態
	2～4	耳疾患 アトピー性皮膚炎	歯列・咬合 栄養状態 歯肉の状態 歯垢の状態 眼の疾病・異常 ぜん息	歯列・咬合 歯肉の状態 歯垢の状態 眼の疾病・異常 耳疾患	歯列・咬合 眼の疾病・異常 耳疾患 蛋白検出の者
	1～2	その他の皮膚疾患 口腔咽喉頭疾患・異常 歯列・咬合 ぜん息	アトピー性皮膚炎 心電図異常 口腔咽喉頭疾患・異常	口腔咽喉頭疾患・異常 心電図異常 ぜん息 蛋白検出の者 アトピー性皮膚炎 栄養状態	心電図異常 歯・口腔のその他の疾病・異常 その他の疾病・異常
	0.5～1	眼の疾病・異常 歯・口腔のその他の疾病・異常 蛋白検出の者 その他の疾病・異常	難聴 その他の疾病・異常	その他の疾病・異常 難聴 歯・口腔のその他の疾病・異常 せき柱・胸郭異常 尿糖検出の者 腎臓疾患	アトピー性皮膚炎 口腔咽喉頭疾患・異常 難聴 顎関節 ぜん息
0.1～1	0.1～0.5	言語障害 腎臓疾患 心臓の疾病・異常 栄養状態	せき柱・胸郭異常 心臓の疾病・異常 蛋白検出の者 その他の皮膚疾患 言語障害 顎関節 尿糖検出の者	顎関節 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常 言語障害	せき柱・胸郭異常 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 結核 栄養状態 その他の皮膚疾患 腎臓疾患
0.1未満			寄生虫卵保有者 腎臓疾患		言語障害
該当者なし		顎関節 歯垢の状態 歯肉の状態 せき柱・胸郭異常 寄生虫卵保有者	結核	結核	
非公表		裸眼視力1.0未満の者			鼻・副鼻腔疾患

- (注) 1. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。  
 2. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等のある者等である。  
 3. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。  
 4. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。  
 5. 「その他の疾病・異常」とは、いずれの調査項目にも該当しない疾病・異常である。  
 6. 「非公表」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、または回答校が1校以下のため統計数値が公表されていないものである。

## 2 主な疾病・異常等の推移

疾病・異常等のうち主なものについて、その推移をみると表9のとおりである。

表9 主な疾病・異常等の推移

(単位：％)

区 分		未裸 満眼 の視 者力 1.0	耳 疾 患	疾 鼻 ・ 副 鼻 患腔	疾 口 患腔 ・咽 異喉 常頭	（む うし 歯） 歯	の 蛋 白 検 者出	心 電 図 異 常	保 寄 生 虫 有 虫 者 卵	ぜ ん 息
幼稚園	平成10年度	57.5	3.0	6.2	5.0	76.3	－	…	－	0.8
	平成16年度	28.4	4.0	13.6	2.5	71.7	－	…	－	0.1
	平成17年度	14.7	2.8	7.1	3.1	62.9	0.4	…	－	0.3
	平成18年度	X	3.7	9.8	5.0	68.0	0.4	…	－	－
	平成19年度	X	0.2	1.2	0.7	66.4	0.2	…	－	0.1
	平成20年度	X	3.1	9.5	1.4	64.7	0.6	…	－	1.2
	全 国	28.9	2.8	3.8	1.7	50.3	0.5	…	0.1	2.7
小学校	平成10年度	38.3	3.9	13.9	3.1	85.5	0.5	1.1	0.2	0.4
	平成16年度	38.8	4.6	13.0	1.7	76.9	0.5	1.1	－	0.6
	平成17年度	38.6	6.1	14.9	1.6	77.7	0.3	1.5	－	1.2
	平成18年度	40.8	5.5	15.2	1.7	76.9	0.5	1.7	0.0	1.3
	平成19年度	40.7	6.0	15.8	1.1	76.8	1.0	1.7	－	1.4
	平成20年度	43.1	4.8	15.1	1.3	74.3	0.3	1.5	0.0	2.0
	全 国	29.9	5.2	11.9	1.8	63.8	0.7	2.7	0.3	3.9
中学校	平成10年度	56.9	2.1	10.7	1.2	81.7	1.5	1.1	…	0.5
	平成16年度	60.5	1.8	11.1	0.6	67.4	1.3	1.3	…	0.5
	平成17年度	58.9	1.6	10.7	0.9	67.0	1.0	1.6	…	0.9
	平成18年度	61.0	1.8	11.1	0.8	68.0	1.0	1.7	…	1.1
	平成19年度	60.6	1.9	8.1	0.3	65.2	1.8	2.1	…	0.7
	平成20年度	64.5	3.1	15.6	1.9	68.8	1.7	1.9	…	1.8
	全 国	52.6	3.6	10.8	1.1	56.0	2.5	3.5	…	3.0
高等学校	平成10年度	65.9	0.5	9.9	1.0	90.9	1.5	1.0	…	0.1
	平成16年度	64.5	0.8	8.7	0.6	78.4	1.4	1.2	…	0.2
	平成17年度	68.2	0.7	9.5	0.7	77.6	1.2	2.6	…	0.5
	平成18年度	57.6	1.1	8.1	0.4	75.8	2.8	1.6	…	0.7
	平成19年度	59.8	3.2	X	0.3	72.2	2.1	1.2	…	1.0
	平成20年度	68.1	2.5	X	0.8	71.0	2.4	1.6	…	0.7
	全 国	58.0	2.0	8.8	0.6	65.5	2.8	3.1	…	1.8

- 注： 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。  
2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。  
3. 寄生虫卵保有者については、5歳から8歳のみ実施している。  
4. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5％以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。以下の各表において同じ。

(1) 裸眼視力

- ① 裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校、中学校、高等学校の学校区分で全国平均を上回っている。
- ・小学校では 43.1% (全国平均 29.9%)
  - ・中学校では 64.5% (同 52.6%)
  - ・高等学校では 68.1% (同 58.0%)
- ② 10 年前と比較すると、小学校、中学校、高等学校の学校区分で、その割合が増加している。

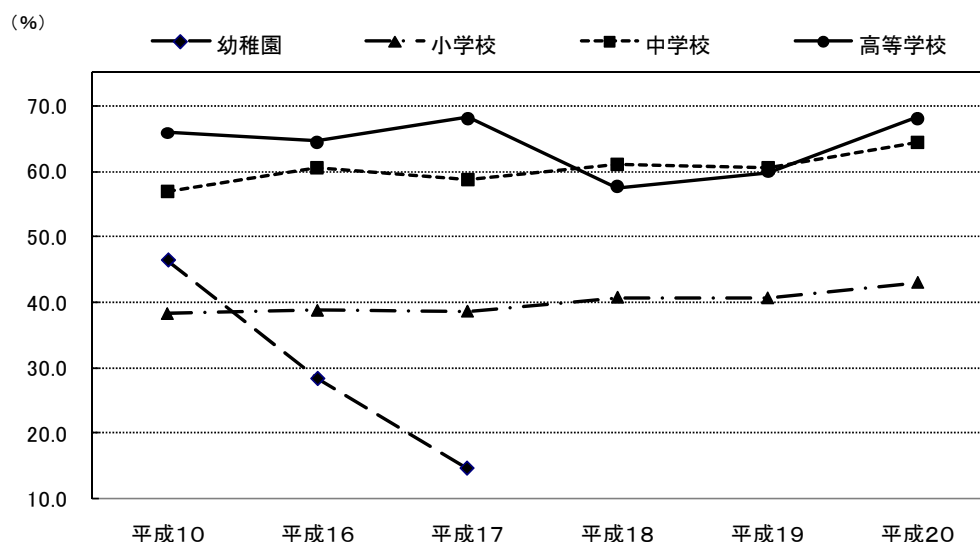
表 10 裸眼視力 1.0 未満の者の推移

(単位: %)

区 分		平成 10	平成 16	平成 17	平成 18	平成 19	平成 20	全国平均 平成 20
幼稚園	計	57.5	28.4	14.7	X	X	X	28.9
	1.0未満0.7以上	45.5	14.2	12.1	X	X	X	22.0
	0.7未満0.3以上	6.6	14.1	2.6	X	X	X	6.1
	0.3未満	5.3	-	-	X	X	X	0.8
小学校	計	38.3	38.8	38.6	40.8	40.7	43.1	29.9
	1.0未満0.7以上	17.9	17.5	16.6	18.0	16.1	17.4	11.2
	0.7未満0.3以上	11.8	12.7	13.2	13.6	14.9	14.6	11.6
	0.3未満	8.6	8.5	8.8	9.2	9.7	11.0	7.1
中学校	計	56.9	60.5	58.8	61.0	60.6	64.5	52.6
	1.0未満0.7以上	10.3	12.1	11.5	12.6	11.3	12.9	12.4
	0.7未満0.3以上	19.1	17.9	17.3	19.2	17.8	19.1	17.8
	0.3未満	27.5	30.6	30.0	29.3	31.5	32.5	22.4
高等学校	計	65.9	64.5	68.2	57.6	59.8	68.1	58.0
	1.0未満0.7以上	10.2	10.7	8.0	11.6	10.0	X	12.6
	0.7未満0.3以上	17.7	15.3	14.5	19.7	13.0	X	17.1
	0.3未満	38.0	38.5	45.7	26.2	36.8	X	28.4

(注) 「計」欄の数値と内訳の合計数値とは、四捨五入しているため一致しない場合がある。  
以下の各表において同じ。

図 3 裸眼視力 1.0 未満の者の推移



## (2) 鼻・副鼻腔疾患

① 鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎など）の被患率は、幼稚園、小学校及び中学校の区分で、全国平均を上回っている。

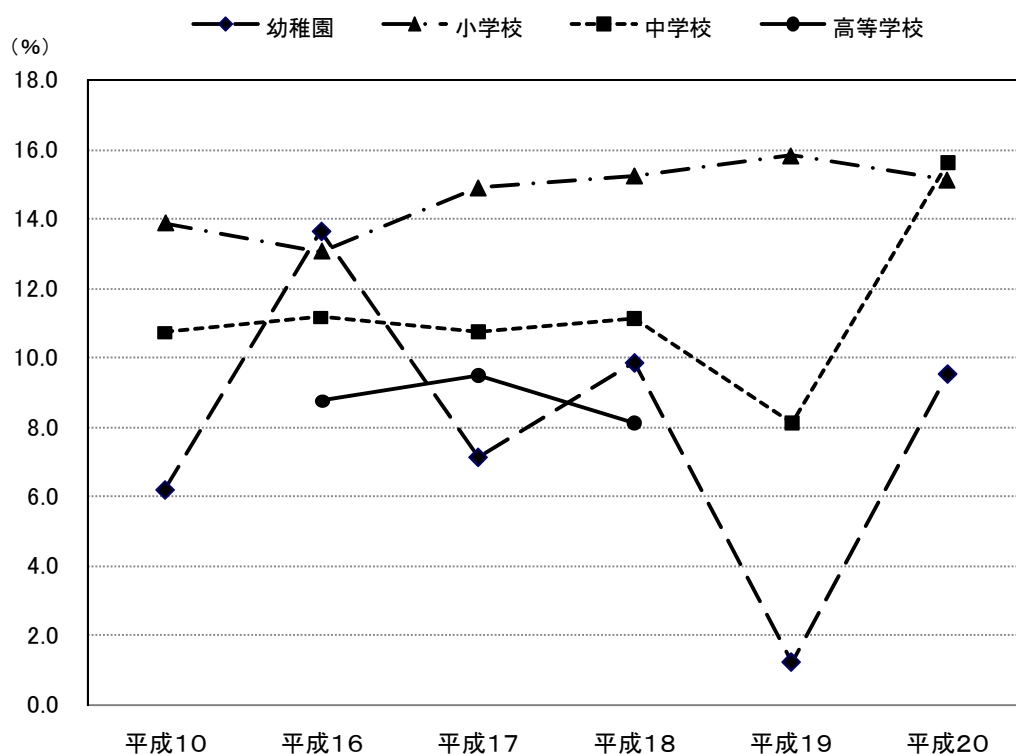
- ・幼稚園では9.5%（全国平均 3.8%）
- ・小学校では15.1%（同11.9%）
- ・中学校では15.6%（同10.8%）

② 10年前と比較すると、小学校の学校区分において、その割合が増加している。

表 11 鼻・副鼻腔疾患の者の推移

区 分	平成10	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	(単位:%) 全国平均 平成20
幼稚園	6.2	13.6	7.1	9.8	1.2	9.5	3.8
小学校	13.9	13.0	14.9	15.2	15.8	15.1	11.9
中学校	10.7	11.1	10.7	11.1	8.1	15.6	10.8
高等学校	9.9	8.7	9.5	8.1	X	X	8.8

図 4 鼻・副鼻腔疾患の者の推移



### (3) むし歯（う歯）

① むし歯の被患率（処置完了者を含む）は、全学校区分で全国平均を上回っている。

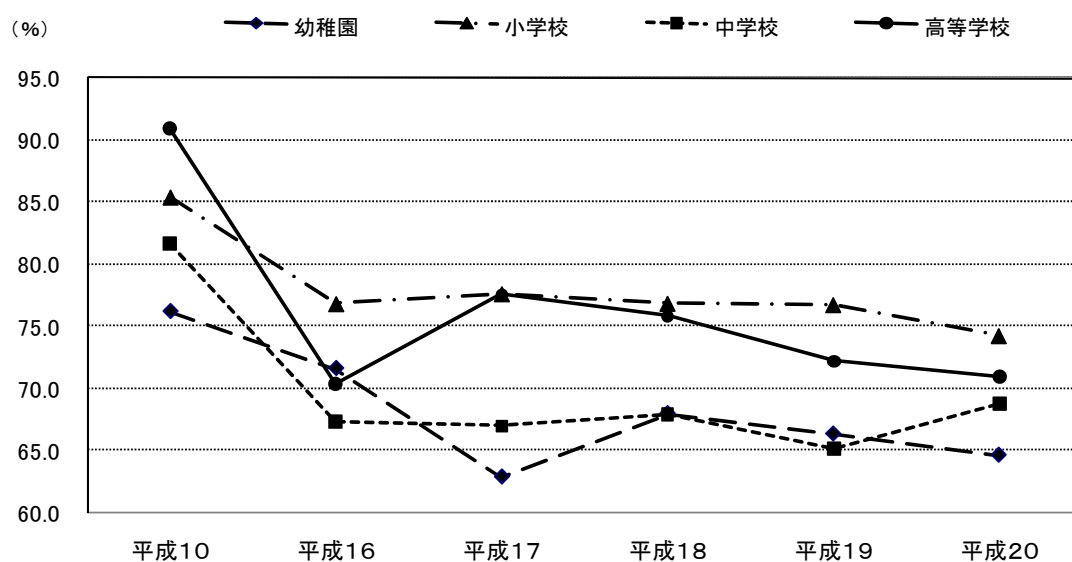
- ・幼稚園では64.7%（全国平均50.3%）
- ・小学校では74.3%（同63.8%）
- ・中学校では68.8%（同56.0%）
- ・高等学校では71.0%（同65.5%）

② 10年前と比較すると、全学校区分においてその割合は減少している。

表12 むし歯（う歯）の被患率の推移

区 分		平成10	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	(単位:%) 全国平均 平成20
幼稚園	計	76.3	71.7	62.9	68.0	66.4	64.7	50.3
	処置完了者	21.1	26.7	19.7	23.5	23.7	22.5	20.3
	未処置歯のある者	55.2	45.0	43.3	44.5	42.7	42.2	29.9
小学校	計	85.5	76.9	77.7	76.9	76.8	74.3	63.8
	処置完了者	37.6	32.5	32.6	33.0	30.4	30.8	30.9
	未処置歯のある者	47.8	44.4	45.1	43.9	46.4	43.5	32.9
中学校	計	81.7	67.4	67.0	68.0	65.2	68.8	56.0
	処置完了者	47.3	36.7	41.0	37.7	36.2	35.6	30.4
	未処置歯のある者	34.4	30.7	26.1	30.3	29.0	33.2	25.6
高等学校	計	90.9	70.4	77.6	75.8	72.2	71.0	65.5
	処置完了者	44.2	44.4	42.8	38.6	38.7	34.3	36.0
	未処置歯のある者	46.7	34.0	34.8	37.3	33.5	36.7	29.5

図5 むし歯（う歯）の被患率の推移



#### (4) 心電図異常

- ① 心電図異常の者の割合は、小学校、中学校及び高等学校のいずれの学校区分においても全国平均を下回っている。
- ・小学校では1.5%（全国平均2.7%）
  - ・中学校では1.9%（同3.5%）
  - ・高等学校では1.6%（同3.1%）
- ② 10年前と比較すると、小学校、中学校及び高等学校のいずれの学校区分においても、その割合は増加している。

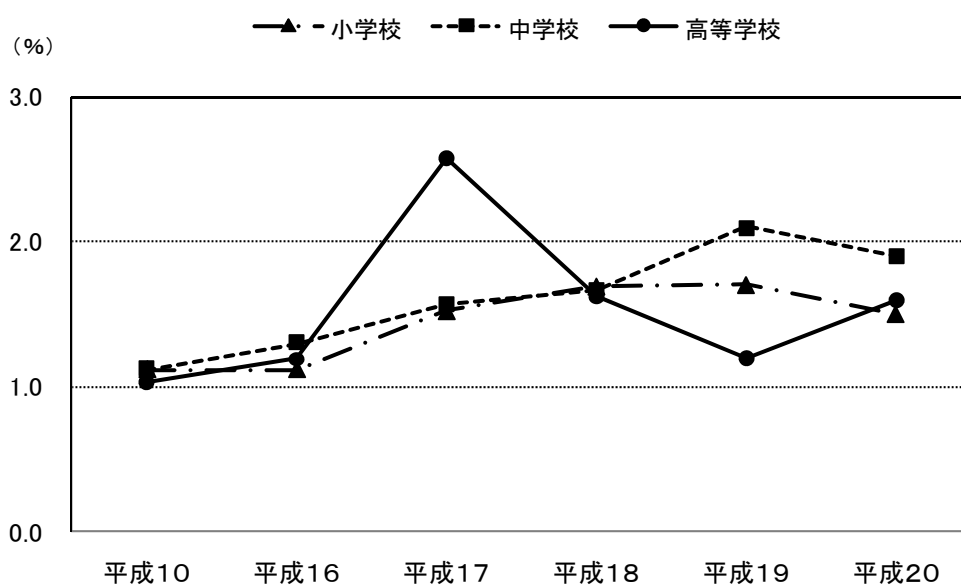
表 13 心電図異常の者の推移

(単位:%)

区 分	平成10	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	全国平均 平成20
小 学 校	1.1	1.1	1.5	1.7	1.7	1.5	2.7
中 学 校	1.1	1.3	1.6	1.7	2.1	1.9	3.5
高 等 学 校	1.0	1.2	2.6	1.6	1.2	1.6	3.1

(注)心電図の調査は、6歳、12歳及び15歳のみ実施している。

図 6 心電図異常の者の推移



(5) ぜん息

① ぜん息の者の割合は、全学校区分で全国平均を下回っている。

- ・幼稚園では1.2％（全国平均2.7％）
- ・小学校では2.0％（同3.9％）
- ・中学校では1.8％（同3.0％）
- ・高等学校では0.7％（同1.8％）

② 10年前と比較すると、小学校、中学校及び高等学校の学校区分において、その割合は増加している。

表 14 ぜん息の者の推移

区 分	平成10	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	(単位:%) 全国平均 平成20
幼 稚 園	0.8	0.1	0.3	-	0.1	1.2	2.7
小 学 校	0.4	0.6	1.2	1.3	1.4	2.0	3.9
中 学 校	0.5	0.5	0.9	1.1	0.7	1.8	3.0
高 等 学 校	0.1	0.2	0.5	0.7	1.0	0.7	1.8

図 8 ぜん息の者の推移

